

HERO

/ GoProの情報をチェック



facebook.com/GoPro



youtube.com/GoPro



twitter.com/GoPro



instagram.com/GoPro

To download this user manual in a different language, visit **gopro.com/support**.

Pour télécharger ce manuel de l'utilisateur dans une autre langue, rendez-vous sur **gopro.com/support**.

Wenn Sie dieses Benutzerhandbuch in einer anderen Sprache herunterladen möchten, besuchen Sie **gopro.com/support**.

Per scaricare questo manuale utente in un'altra lingua, visita **gopro.com/support**.

Para descargar este manual de usuario en otro idioma, visite **gopro.com/support**.

Para baixar este manual do usuário em outro idioma, acesse **gopro.com/support**.

このユーザーマニュアルの他言語版をダウンロードするには、**gopro.com/support**にアクセスしてください。

若要下載其他語言版本的使用說明書，請前往：**gopro.com/support**。

如需下載本用戶手冊的其他語言版本，請訪問**gopro.com/support**。

/ 目次

オプションのアクセサリ	6
基本	8
はじめに	10
カメラステータススクリーン	17
カメラアイコン	18
カメラメニュー	19
カメラモード	20
ビデオモード	21
写真モード	22
連写モード	23
コマ撮りモード	24
設定モード	25
最小システム要件	32
ファイルの転送と再生	33
バッテリー	34
重要なメッセージ	37
カメラのハウジング	39
マウントの使用	42

/ 目次

よくある質問	45
カスタマサポート	47
登録商標	47
法的情報	47



ヘッドストラップ+QuickClip



Chesty (チェストハーネス)



吸引カップ



Jaws: フレックスクランプ



サーフボードマウント



ボディボードマウント



3-Way



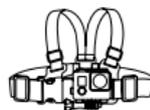
三脚マウント



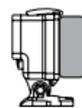
ヘルメットフロントマウント



サイドマウント



Junior Chesty
(チェスティハーネス)



フロート後部ドア



ハンドルバー/シートポスト/
ポールマウント

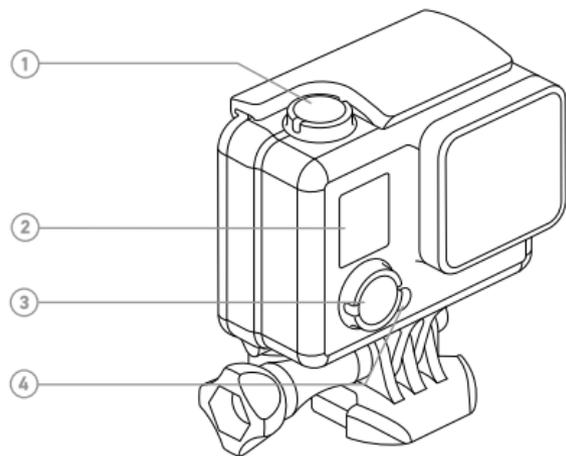


通気ヘルメットストラップ
マウント

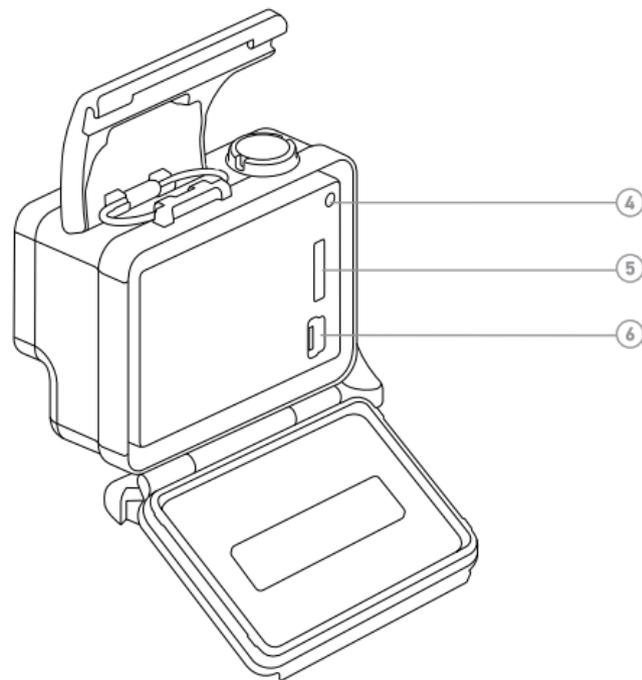


Fetch (ドッグハーネス)

詳細情報は
gopro.com
でご覧ください。



1. Shutter/Select
(シャッター/選択) ボタン
2. カメラステータススクリーン
3. Power/Mode
(電源/モード) ボタン
4. カメラステータスライト

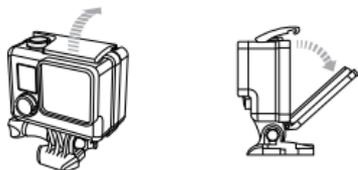


4. Shutter/Select
(シャッター/選択) ボタン
5. MicroSDカードスロット
(microSDカードは別売り)
6. Mini-USBポート

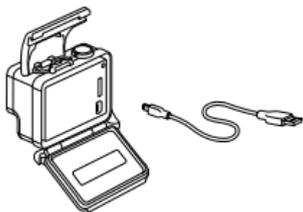
バッテリーの充電

1. ハウジングの後部ドアを開けます。

注意: カメラ、バッテリー、ハウジングが一体型になっています。カメラをハウジングから取り外したり、カメラからバッテリーを外すことはできません。



2. 付属のUSBケーブルを使用してカメラをコンピュータか他のUSB充電用アダプタに接続します。



注意: 出力5V 1Aと記載されたUSB充電アダプタをご利用ください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属のUSBケーブルを使用してコンピュータに接続し、カメラの充電を行ってください。

コンピュータで充電する際には、コンピュータが必ず電源に接続されていることを確認してください。もし、カメラのステータスライトが点灯しない、あるいは、充電インジケータの充電アイコンが表示されない場合は、別のUSBポートを使用してください。

充電速度を上げるには、コンピュータまたはUSB充電用アダプタに接続したあと、カメラの電源がオフになっていることを確認します。充電中には赤のステータスライトが点灯し、充電が完了するとライトが消えます。

一体型のリチウムイオンバッテリーはフル充電されていません。フル充電されていない状態で使用しても、カメラやバッテリーが損傷することはありません。

バッテリーについて詳しくは[バッテリー](#)(ページ34)を参照してください。



警告: アクティブなライフスタイルの一部としてGoProを使用するときは十分ご注意ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないように、使用時には常に周囲に気を配ってください。GoProや関連のマウント、アクセサリをご利用の際には、現地の法律に従ってください。

MICROSDカードの挿入と排出

HEROカメラは32GBまでの容量のmicroSD、microSDHC、microSDXCメモ리카ードと互換性があります(別売)。Class 10またはUHS-1レーティングのmicroSDカードを使用してください。高い信頼性が要求される振動の大きい活動には、有名ブランドのメモ리카ードの使用を推奨します。

**microSDカードを挿入するには:**

メモ리카ードのラベル面がカメラ後部にあるGoProのロゴと向き合うようにしてカードスロットに挿入します。

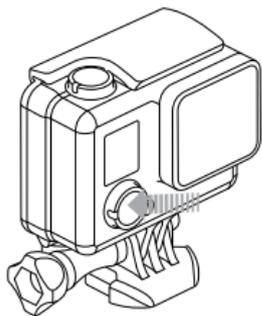
カチッという音がするまでカードを完全に挿入します。

**microSDカードを取り出す:**

メモ리카ードの縁に爪を当て、カードをカメラの中へ押し込むように押します。

バネの作用でカードが出てくるので抜き取ります。

注意:メモ리카ードの取り扱いには注意を払ってください。液体がかかったり、ゴミやホコリが付着しないようにしてください。念のため、カードを抜き差しする前にカメラの電源を切ってください。使用時の許容温度範囲については、メーカーのガイドラインを確認してください。



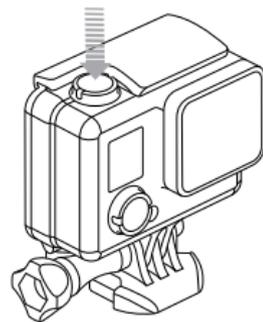
電源ONとOFF

電源をONにする:

Power/Mode (電源/モード)ボタンを一度押します。カメラステータスライトが3回点滅し、サウンドインジケータが3回ビープ音を発します。カメラのステータススクリーンに情報が表示されればカメラの電源が入ったことを意味します。

電源をOFFにする:

Power/Mode (電源/モード)ボタンを2秒間長押しします。カメラステータスライトが数回点滅し、サウンドインジケータが7回ビープ音を発します。



PROヒント: カメラをオンにしてすぐにビデオの録画を開始するか、**Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを押すだけで、コマ撮り撮影を開始できます。ビデオ撮影はボタンを押して放し、コマ撮り撮影では2秒間長押しします。詳細については、[QuikCapture](#) (ページ 29)を参照してください。

1 はじめに

カメラのソフトウェア更新

HEROカメラの最新の機能と最高の性能を得るには、常に最新のカメラソフトウェアを使用してください。カメラのソフトウェアはGoProソフトウェアで更新できます。詳細については、gopro.com/getstartedをご覧ください。

カメラの初期設定

HEROカメラの初期設定は次のとおりです。

	ビデオ	720p60 SuperView, Auto Low Light(自動微光)
	写真	5MP
	連写	2秒間で10枚撮影(1秒間に5枚)
	コマ撮り	0.5秒
	QuikCapture	ON

PROヒント: Video (ビデオ)またはPhoto (写真)の設定に切り替えるには、**設定メニュー** (ページ25)を参照してください。

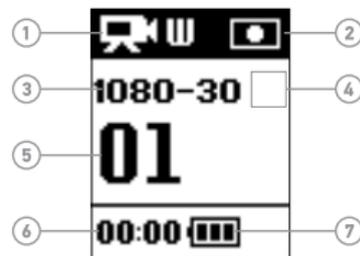
1 カメラステータススクリーン

HEROカメラのフロント部にステータススクリーンが搭載されています。

カメラステータススクリーン

カメラステータススクリーンにはモードと設定に関する次の情報が表示されます。

1. カメラモード/FOV (視野)
2. 露光計 (露光計がオン
のとき)
3. 解像度/fps (毎秒のフ
レーム数)
4. 間隔の設定 (非表示)
5. カウンタ
6. 時間/保存/ファイル
7. バッテリー残量



注意: カメラステータススクリーン上に表示されるアイコンはモードによって異なります。

/ カメラアイコン

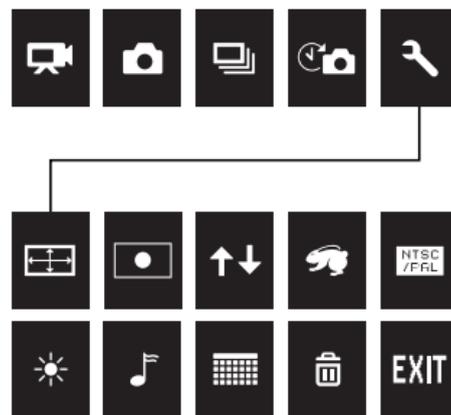
カメラモード

-  ビデオ
-  写真
-  連写
-  コマ撮り
-  設定

設定

-  解像度
-  露光計
-  画像転倒
-  QuikCapture
-  NTSC/PAL
-  LED
-  ビープ音
-  日付/時刻
-  消去
- EXIT** 終了

/ カメラメニュー



HEROにはいくつかのカメラモードがあります。モードを表示するには、**Power/Mode** (電源/モード) ボタンを繰り返し押します。

モードの種類:

	ビデオ(初期設定)	ビデオ録画
	写真	写真を1枚撮影
	連写	2秒で10枚を撮影
	コマ撮り	0.5秒ごとに写真を撮影
	設定	カメラ設定を調整

ビデオの撮影

ビデオを撮影するには、カメラが**ビデオモード**になっていることを確認してください。カメラのステータススクリーンの左上に**ビデオ**アイコン[]が表示されない場合は、表示されるまで**Power/Mode** (電源/モード) ボタンを繰り返し押します。

録画を開始する:

Shutter/Select (シャッター/選択) ボタン を押します。カメラが一度ピープ音を発し、録画中はカメラのステータスライトが点滅します。

録画を停止する:

Shutter/Select (シャッター/選択) ボタン を押します。カメラステータスライトが3回点滅し、カメラから3回ピープ音がして録画停止を知らせます。

メモリカードが一杯になるか、またはバッテリー残量がなくなると、カメラは自動的に録画を停止します。カメラの電源がOFFになる前に、撮影したビデオは保存されます。

PROヒント: QuikCapture機能でカメラをオンにしてすぐにビデオの録画を開始するか、**Shutter/Select** (シャッター/選択) ボタンを押してコマ撮り撮影を開始します。QuikCaptureをオフにするには、[QuikCapture](#) (ページ29)を参照してください。

写真モードでは、超広角FOVで5MPの解像度の写真を撮影できます。

写真の撮影

写真を撮影するには、カメラが**写真モード**になっていることを確認します。カメラのステータススクリーンの左上に**写真アイコン** [📷]が表示されない場合は、表示されるまで**Power/Mode** (電源/モード)ボタンを繰り返し押します。

写真を撮影する:

Shutter/Select (シャッター/選択)ボタンを押します。カメラが2回ビープ音を発し、カメラのステータスライトが点滅して、カメラステータス画面のカウンタが1ずつ増えます。

連写モードを使用すると、2秒間に10枚の写真を撮影できます (5 fps)。

連続写真の撮影

連続写真を撮影するには、カメラが**連写モード**になっていることを確認します。カメラのステータススクリーンの左上に**連写アイコン** [📷]が表示されない場合は、表示されるまで**Power/Mode** (電源/モード)ボタンを繰り返し押します。

連続写真を撮影する:

Shutter/Select (シャッター/選択)ボタンを押します。カメラステータスライトが点滅し、カメラが数回ビープ音を発します。写真が撮影されるごとに、カメラステータス画面のカウンターが10ずつ増加します。

コマ撮りモードを使用すると、0.5秒ごとに1枚の写真を撮影できます。

TIME LAPSE (コマ撮り)撮影

コマ撮りで撮影するには、カメラがコマ撮りモードになっていることを確認します。カメラのステータススクリーンの左上にコマ撮りアイコン [📷] が表示されない場合は、表示されるまで **Power/ Mode**(電源/モード)ボタンを繰り返し押します。

コマ撮り写真を撮影する:

Shutter/Select (シャッター/選択)ボタンを押します。写真が撮影されるたびに、カメラステータスライトが点滅します。

コマ撮り写真の撮影を停止する:

Shutter/Select (シャッター/選択)ボタンを押します。カメラステータスライトが3回点滅し、サウンドインジケータが3回ビープ音を発します。

PROヒント: QuikCapture機能でカメラをオンにしてすぐにビデオの録画を開始するか、**Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを2秒間長押ししてコマ撮り撮影を開始します。QuikCaptureをオフするには、*QuikCapture* (ページ 29)を参照してください。

Settings (設定)モード [🔧]でビデオの解像度を変更するか、すべてのカメラモードに適用される設定を変更します。

設定メニューのナビゲート

HEROをご使用のときはカメラのボタンを使用して設定メニューをナビゲートできます。

Settings (設定)メニューをナビゲートする:

1. **Power/Mode** (電源/モード)ボタンを繰り返し押しして**Settings** (設定)モード [🔧]までナビゲートします。その後、**Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを押してそれを選択します。
2. **Power/Mode**(電源/モード) ボタンを押して、設定間を移動します。
3. **Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを押して、設定を開きます。
4. **Power/Mode**(電源/モード) ボタンを繰り返し押しして、設定のオプション間を移動します。
5. **Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを押して、オプションを選択します。
6. **Power/Mode** (電源/モード)ボタンを押してExit(終了)までナビゲートし、**Shutter/Select**(シャッター/選択)ボタン を押しして選択し、終了します。

PROヒント: Settings (設定)メニューを終了したいときはいつでも、**Shutter/Select** (シャッター/選択)ボタンを2秒間押し続けます。

解像度

HEROでは下記のビデオ撮影解像度を指定できます。

すべてのビデオは超広角FOVで撮影され、最大の視野と安定した画像を実現します。超広角FOVはフレーム内にできるだけ多くのコンテンツを含めたいときに使用します。

SuperViewは世界一の臨場感を実現します。縦長の4:3のコンテンツは、自動的にフルスクリーン16:9へと引き延ばされ、コンピュータやテレビで迫力ある画像を楽しむことができます。

ビデオ解像度	FPS (NTSC/PAL)	FOV	画面解像度
1080p	30/25	超広角	1920x1080、16:9
720p*	60/50	超広角	1280x720、16:9
720p* SuperView	60/50	超広角	1280x720、16:9

*720pの解像度ではいずれも、Auto Low Light(自動微光)が適用されます。この機能は光の条件に応じて、自動的にfpsを最適化します。

ビデオの設定

最適用途

1080p

最高の解像度で細部までくっきりとした鮮明な映像を撮影できます。

720p

カメラを手持ちで他の人を撮る、あるいは、スローモーションで撮るときに使用。動きの速い被写体を撮影するのに最適です。

720p SuperView

自分の視界を撮影したり最大の垂直FOVなどを撮影したいときなど、ボディマウントまたはギアマウントでの撮影に最適です。

PROヒント: 無料のGoProソフトウェアを使用することで、素晴らしいGoProスタイルのビデオを簡単に作成できます。 gopro.com/getstartedにてこのソフトウェアの詳細を確認し、ソフトウェアをダウンロードできます。

 SPOT METER (露光計)

露光計は車内から屋外を撮影したり、日向から日陰にある被写体を撮影するなど、撮影者のいる位置と照明の強度がことなる環境で撮影する際に適した設定です。露光計は自動的に画像の中心にある一点をもとに露光を設定します。Spot Meter がオンになると [●] がカメラのステータススクリーンに表示されます。この設定のオプションはオフ(初期設定)およびオンです。

 UPSIDE DOWN (画像転倒)

カメラを上下逆にマウントしたときなど、編集時にファイルの上下を逆にする必要が生じることがあります。この設定により、カメラを上下逆にマウントしたとき、ビデオや写真を記録後に反転させる必要がなくなります。初期設定はUp(上)です。

設定	説明
上 	右側を上にしてカメラを使用した。
下 	上下逆でカメラを使用した。

 QUIKCAPTURE

QuikCaptureを使用することで、カメラの電源をすばやく入れ、ビデオまたはコマ撮り写真の撮影を開始できます。この設定のオプションはオン(初期設定)およびオフです。

QuikCaptureでビデオを撮影する:

カメラがオフの状態、**Shutter/Select** (シャッター/選択) ボタンを押して、放します。自動的にカメラの電源が入り、ビデオの撮影が開始されます。

QuikCaptureでコマ撮り写真を撮影する:

カメラがオフの状態、**Shutter/Select** (シャッター/選択) ボタンを2秒間長押しします。自動的にカメラの電源が入り、コマ撮り写真の撮影が開始されます。

録画を停止する:

Shutter/Select (シャッター/選択) ボタンを押して放すと、録画が停止して、カメラの電源がオフになります。

 NTSC/PAL

ビデオ形式の設定では、録画時のフレームレートとTV/HDTVでビデオを見る際の再生を設定します。

設定	説明
NTSC (初期設定)	NTSC TV/HDTVでビデオを視聴する(北米のほとんどのテレビ)
PAL	PAL TV/HDTVでビデオを視聴する(北米以外のほとんどのテレビ)

 LED

この設定はアクティブにするカメラステータスライトを決定します。この設定のオプションは、Both On (フロントとリアの両方オン)、Both Off (両方オフ)、Front On (フロントオン)、Rear On (リアオン)。初期設定はBoth On (両方オン)です。

 ビープ音

サウンドインジケータのボリュームを100%(初期設定)、70%、オフのいずれかに設定できます。

 日付/時刻

カメラの日付と時刻はカメラがGoProソフトウェアに接続されたときに自動的に設定されます。この設定を使用することで、日付と時刻を手動で設定できるようになります。

 消去

この設定では最後の写真を削除する、またはすべての写真を削除し、メモリをフォーマットすることができます。この操作が完了するまでLEDが点滅します。

注意: All/Format (すべて/フォーマット)を選択し、メモリカードが再フォーマットされるとカードに記録されているすべてのビデオと写真のファイルが削除されます。

コンピュータ上で画像を最高の状態で再生できるように、gopro.com/getstartedにアクセスして最新のGoProソフトウェアをダウンロードしてください。ご使用のMac®またはWindows®コンピュータが最小のシステム要件を満たしていることを確認してください。

	Windows	Mac
オペレーティングシステム	Windows 7, 8.x	OS X® 10.8以降
CPU	Intel® Core 2 Duo™ (Intel Quad Core™ i7以降推奨)	Intel Dual Core™ (Intel Quad Core i7以降推奨)
グラフィックカード	OpenGL 1.2以降をサポートするカード	
画面解像度	1280 x 800	1280 x 768
RAM	2GB (4GB 以上を推奨)	4GB
ハードドライブ	5400 RPMの内蔵ドライブ(7200 RPMのドライブまたはSSDを推奨) 外付けの場合: USB 3.0 またはeSATA	5400 RPMの内蔵ドライブ(7200 RPMのドライブまたはSSDを推奨) 外付けの場合: Thunderbolt、FireWire、 または USB 3.0

コンピュータ上でビデオや写真を再生するには、まず、これらのファイルをコンピュータに転送する必要があります。

ファイルをコンピュータに転送する:

1. gopro.com/getstartedから最新のGoProソフトウェアをダウンロードし、インストールします。HEROカメラはファイルを簡単に指定して、送信できるようにGoProソフトウェアと通信できるようデザインされています。
2. 付属のUSBケーブルを使用してカメラをコンピュータに接続します。
3. カメラの電源をONにします。
4. コンピュータまたは外部ハードドライブにファイルをコピーします。
5. ファイルを再生するには、GoProソフトウェアを使用します。

PROヒント: コンピュータへのファイルの送信にはカードリーダー(別売)を使用することもできます。カードリーダーをコンピュータに接続し、microSDカードをリーダーに挿入します。続いてコンピュータにファイルを転送するか、カード上で選択したファイルを削除します。

HERO/バッテリー、ハウジングが一体型になっています。ハウジングからカメラを取り除いたり、カメラからバッテリーを取り除いたりすることはできません。

バッテリーの残量が10%を下回ると、カメラステータススクリーンに表示されているバッテリーアイコンが点滅します。録画中にバッテリー残量が0%になると、ファイルが保存され、電源がOFFになります。

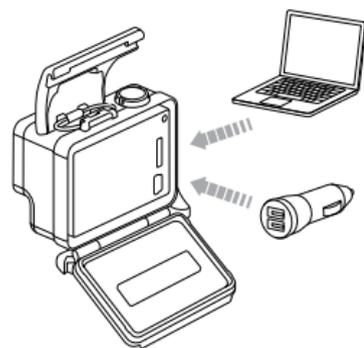
バッテリーの持ちを良くする

気温が低すぎると、バッテリー残量が減少することがあります。低温状態でバッテリー残量を最大限に長持ちさせるには、カメラを使用前に暖かい場所に置いておきます。

PROヒント: QuikCaptureはバッテリー残量を長持ちさせるのに役立ちます。詳細については、[QuikCapture](#)(ページ29)を参照してください。

充電時間

USB充電アダプタを使用すると、バッテリーは約1時間で80%充電され、約2時間で100%充電されます。他の充電器では、充電速度がこれより遅くなることがあります。



充電中のカメラの使用

カメラのバッテリーを充電しながらビデオの録画や写真の撮影を行うことができます。同梱のUSBケーブルを使用して、USB充電器にカメラを接続します。GoPro以外の充電器の性能は保証いたしません。コンピュータ経由で充電中にはHEROを使用できません。

注意: 出力5V 1Aと記載されたUSB充電アダプタをご利用ください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属のUSBケーブルを使用してコンピュータに接続し、カメラの充電を行ってください。

バッテリーの保管と取り扱い

カメラにはバッテリーなど精密機器が含まれています。カメラを非常に高温、あるいは低温に晒さないでください。温度が著しく低い/高い条件下ではバッテリーの残量が一時的になくなったり、カメラが誤作動したりすることがあります。温度や湿度が急激に変化すると製品の内外で結露が発生することがあるので、このような環境では使用しないでください。

一体型のカメラハウジングはカメラとバッテリーを水の侵入による破損から保護します。詳細については、[カメラハウジング](#)を参照してください(ページ 39)。カメラが濡れている(ハウジング内)ときは、カメラの電源をオンにしないでください。カメラの電源が既にオンの状態のときは、直ちに電源を切ってください。カメラを再度使用する前に、全体を十分に乾かしてください。カメラやバッテリーを乾燥させるために、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。水・液体に接触した(ハウジング内)ことでカメラやバッテリーが破損した場合は保証の対象となりませんので注意してください。



警告: 製品の投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿刺、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装、などを行わないでください。mini-USBポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂や穴が開いている、または、水没したなど、破損した、あるいは異常が見られるときには使用を中止してください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

MICROSDカードのメッセージ

NO SD	カードがありません。このカメラでの録画や撮影には、microSD、microSDHC、またはmicroSDXCカードが必要です。
FORMAT SD?	カードがフォーマットされていないか、正しくフォーマットされていない。Yes(はい)を選択してカードをフォーマットするか、No(いいえ)を選択して別のカードを挿入します。 注意: Yesを選択すると、カード上のすべてのコンテンツが削除されます。
FULL	カードが一杯です。ファイルを消去するかカードを交換してください。
SD ERR	カメラはカードの形式を読み取ることができません。このカメラでカードを再フォーマットしてください。

PROヒント: 定期的にmicroSDカードをフォーマットすることで、情報が正常な状態でカードに記録されるようになります。

ファイル修理アイコン



カメラステータススクリーンにFile Repair (ファイル修復)アイコンが表示されている場合は、最後に録画したビデオファイルが録画中に壊れたことを意味します。いずれかのボタンを押してファイルを修復します。

温度アイコン



カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、カメラステータススクリーンにTemperature Warning (温度警告)アイコンが表示されます。この場合は、カメラをそのまま放置して冷却してから、カメラを使用してください。ご使用のカメラはオーバーヒートの状況を特定して、それに対応するよう設計されています。

HERO カメラには次の2種類の後部ドアが付属します: 標準後部ドア(防水)およびスケルトン後部ドア(非防水)。



標準後部ドアを付けると、ハウジングは水深40メートル(131フィート)まで防水になります。このドアは、水、ホコリ、砂、その他の環境ハザードからカメラを保護する場合に使用します。



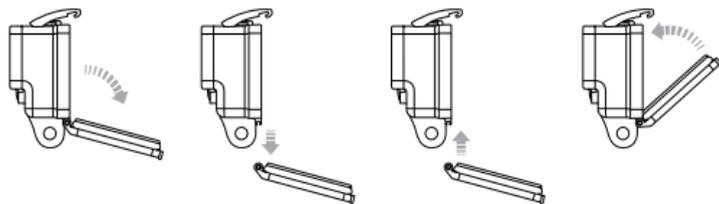
スケルトン後部ドア(非防水)の場合は、音声がカメラのマイクに伝わりやすくなるので、より良好なサウンドが得られます。また、ヘルメットやオートバイなど高速で移動する車両に取り付けた場合、時速160km (100mph)の速度でも風切音が低減されます。この後部ドアは、砂や過剰なチリ/ホコリ、水による損傷の心配がない場合に使用します。また、この後部ドアは車内での使用にも推奨されます。

PROヒント: Rain-X®などの撥水剤をカメラハウジングレンズに塗布して、カメラを雨中や水中で使用する際に水滴が付くのを防止します。

後部ドアの取り換え

アクティビティの状況や撮影状況に応じて、HERO カメラの後部ドアを交換できます。

注意: HERO をハウジングから取り外すことはできません。



後部ドアを交換するには:

1. ハウジングの後部ドアを開き、下方にぶら下がった状態にします。
2. ヒンジから外れるまで後部ドアをさらに下方に引き下げます。
3. 交換用後部ドアをヒンジの開放端に合わせます。
4. 後部ドアを上方に引き上げてカチッと音がするまではめ込み固定します。

カメラを水の侵入による破損から保護する

カメラのハウジングに付いているゴム製シールは防水壁の役割を果たし、湿った状態や水中など環境からHEROを保護します。

カメラのハウジングのゴム製シールは清潔に保ってください。1本の毛髪や1粒の砂でも水漏れやカメラの損傷の原因になることがあります。

海水中でカメラを使用した後は必ず、カメラのハウジングの外側を真水で洗浄して乾燥させてください。これを行わないと、ヒンジのピンが腐食し、シール部分に塩分が蓄積して、故障につながる可能性があります。

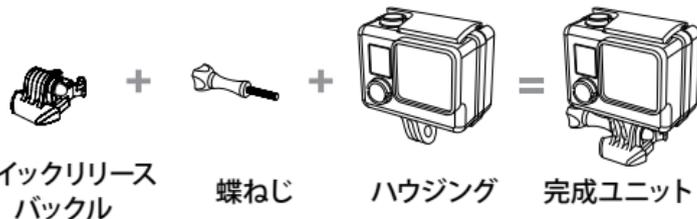
シール部分はバックドアから取り外し、真水で洗浄して、よく振って乾燥させます(布で拭くと、糸くずでシールの密閉性が損なわれることがあります)。カメラのハウジングの標準後部ドアにある溝部分にシールを付け直します。



警告: GoProを使用するときにこれらのステップを行わないと、カメラの損傷や故障の原因となる水漏れが発生することがあります。水はカメラとバッテリーの両方を破損させます。この破損が原因で、破裂や火災の原因になることがあります。ユーザの過失による水の原因の損傷には製品保証が適用されませんのでご注意ください。

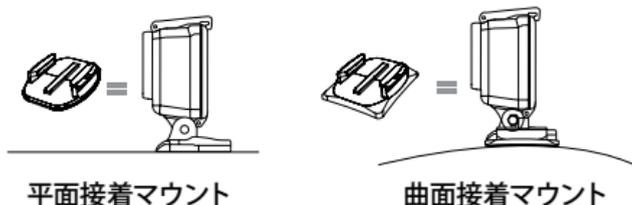
カメラをマウントに取り付ける

HEROカメラをマウントに取り付けるには、使用するマウントによってクイックリリースバックル、蝶ねじ、または金具が必要です。マウントの詳細については、gopro.com/supportをご覧ください。



曲面と平面の接着マウントの使用

曲面と平面の接着マウントは、ヘルメット、車両、装備品の曲面部や平面部にカメラをマウントするのに便利です。クイックリリースバックルを使用すると、組み立てたカメラのハウジングを、固定した曲面または平面の接着マウントに簡単に脱着できます。



マウントガイド

マウントを取り付けるときは次のガイドラインに従ってください。

- カメラを使用する24時間前に接着マウントを取り付けてください。完全に接着させるには72時間置いてください。
- 接着マウントは滑らかな表面にのみ取り付けてください。凹凸があつたり、ざらざらしている表面には十分に接着できません。マウントを取り付けるときは、マウントを固定箇所にしかり押しつけて表面全体が接触するようにします。
- 接着マウントは清潔な表面にのみ取り付けてください。ワックスや脂分、汚れ、ホコリなどがあると接着力が弱まるため、カメラが落下するおそれがあります。
- 室温で接着マウントを取り付けます。マウントの接着剤は、低温環境や湿潤環境で冷えた表面や湿った表面、または室温になじんでいない表面には十分に接着しません。

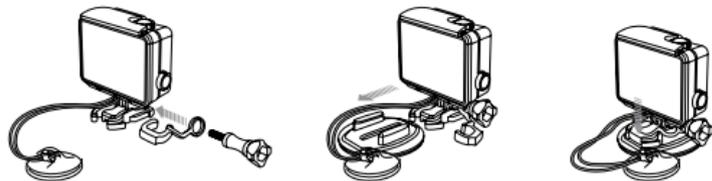
マウントの詳細については、gopro.com/supportをご覧ください。



警告: カメラをGoProヘルメットマウント、またはストラップと使用するときは常に、該当する安全規格に合ったヘルメットを選択してください。実行するスポーツまたはアクティビティ専用のヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者のサイズに適していることを必ず確認してください。ヘルメットに異常がないことを確認し、ヘルメットの安全な使用方法について、ヘルメットメーカーの使用説明書に従ってください。ヘルメットに強い衝撃が加わったときは使用を中止し、新しいものに取り換えてください。すべての事故で負傷を保護できるヘルメットはありません。

ロックプラグの設置

サーフィンやスキーなど強い衝撃を伴うスポーツでHEROを使用する際、大きな衝撃が生じる可能性のあるところでは、特別なロックプラグを使用し、クイックリリースバックルの留め具をしっかりと固定してください。ロックプラグを使用することで、ハウジングがマウントから誤って外れるのを防ぐことができます。



ロックプラグを設置する:

1. ループ 丸いリングを蝶ねじに通して固定します。丸いリングが蝶ねじにフィットして、ロックプラグの落下や紛失を防ぎます。
2. クイックリリースバックルをカチッと音がして固定されるまでマウント側にスライドさせます。
3. プラグのU型の部分を押し、クイックリリースバックルのU型のスペースにプラグをはめ込みます。



警告: 事故が起こったときに負傷することのないよう、ヘルメットまたは他の個人用保護ギアにデバイスをマウントして使用しているときはロックプラグやテザーを使用しないでください。

GOPROの電源が入りません

GoProが充電されているか確認してください。カメラを充電するには、付属のUSBケーブルとコンピュータ、またはUSB充電アダプタを使用します。

ボタンを押してもGOPROが応答しません

Power/Mode (電源/モード) ボタンを8秒間押してカメラをリセットします。このリセットによりカメラのコンテンツと設定がすべて保存され、カメラの電源が切れます。

再生した画像が途切れます

画像の途切れは通常、ファイルの問題ではありません。映像が抜ける場合は、原因として次の状況のいずれかが考えられます。

- 互換性のないビデオプレーヤを使用している。一部のビデオプレーヤではH.264コーデックがサポートされていません。最高の結果を得るために最新のGoProソフトウェアを使用してください。ソフトウェアはgopro.com/getstartedで入手できます。

- コンピュータがHD再生の最低要件を満たしていない。ビデオの解像度とフレームレートが高ければ高いほど、ビデオ再生時のコンピュータへの負荷も高くなります。ご使用のコンピュータが最小システム要件に表示されている最低要件を満たしていることを確認してください(32ページ)。
- USB接続経由でカメラから直接コンテンツを再生する。ファイルをコンピュータに転送して再生してください。コンピュータが最小要件を満たしていない場合は、コンピュータ上の他のプログラムを閉じておいてください。

GoProはベストサービスに万全を期しております。GoProカスタマサポートチームへのお問い合わせについては、gopro.com/supportをご覧ください。

/ 登録商標

GoPro、HERO、GoProロゴ、GoPro Be a Hero ロゴ、BacPac、Protune、SuperView、およびWear It. Mount It. Love It.は、米国およびその他の国のGoPro, Inc.の商標または登録商標です。他の名称や商標は各所有者の財産です。

/ 法的情報

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、ご使用のカメラに付属の重傷な製品および安全情報ガイドを参照してください。

